

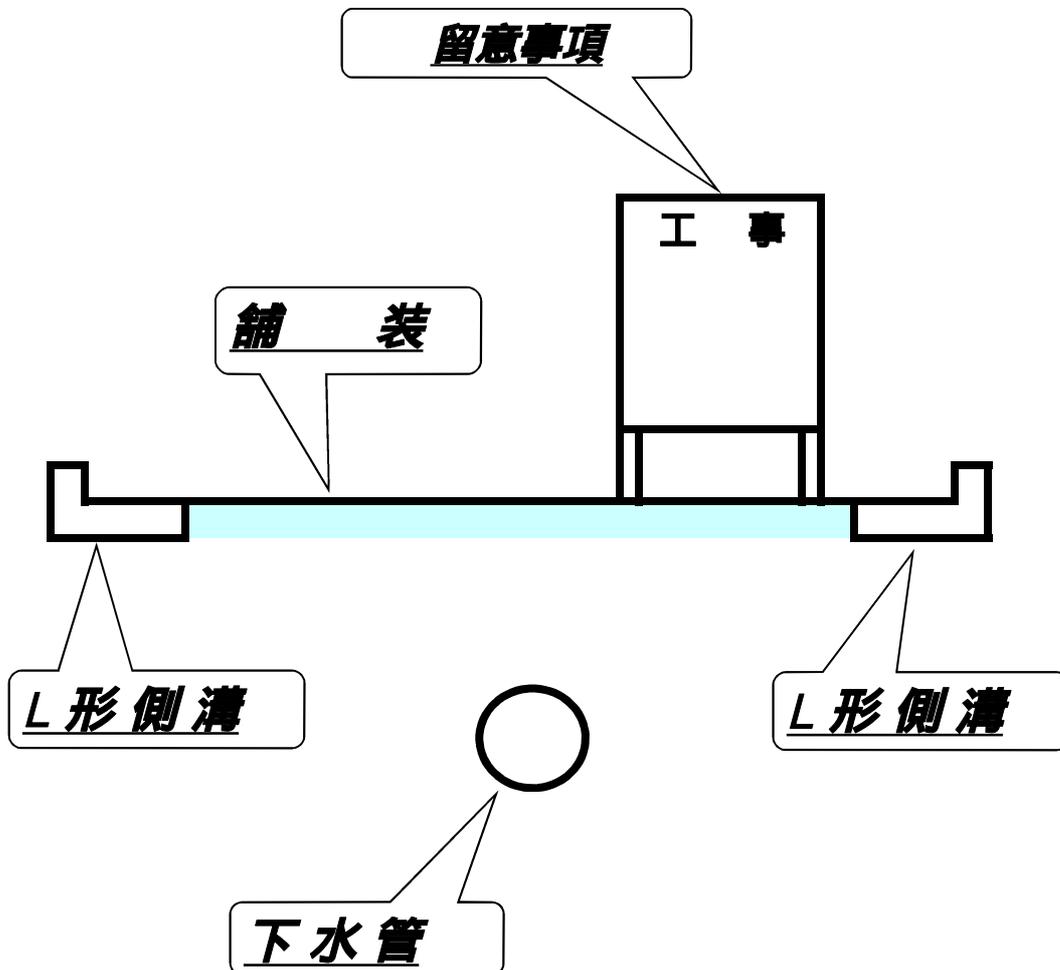
私道整備工事の手順

～工事監督に役立つポイント～

工事は、地元の皆様方が主体となって進めていくものです。契約内容と工事が違っていたり、掘ったところにゴミやコンクリート塊を捨てたりしていないか、また雨天の日に舗装工事が行われていないか、皆様方で工事内容を確認、監督することが必要です。

ご不明の点は、その都度施工業者に確認することが大切です。

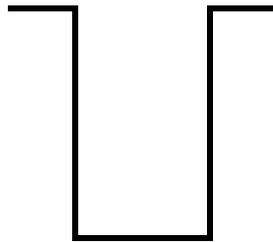
この「私道整備工事の手順」は、工事の流れを簡単にまとめたものです。



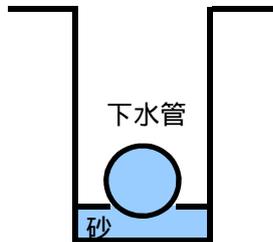
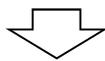
((工事現場内への立ち入りは危険ですので注意しましょう。))

【下 水 管】

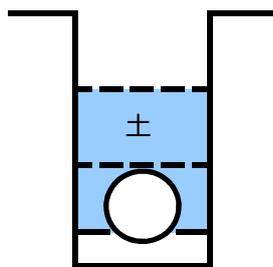
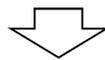
各家庭の汚水や道路に降った雨水を流すもので、私道の真中で地中に作ります。



下水管を埋設するための
穴を掘ります。



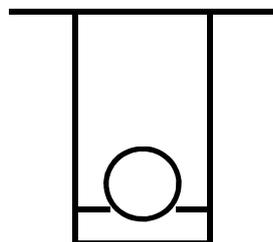
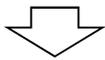
砂を敷いた上に、塩化ビ
ニルの下水管を設置しま
す。



下水管を設置後、土を埋
戻します。

壊したアスファルトの
破片が混入しないよう
に注意します。

数回に分けて十分に固
めます。



段差のないように埋め戻
して完了です。

【L形側溝】

私道の端にあるコンクリートの側溝で道路の雨水を集めます。舗装の前に作ります。L形側溝は、車乗り入れ用の段差の小さいものもあります。



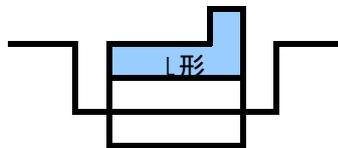
所定の深さまで掘ります。



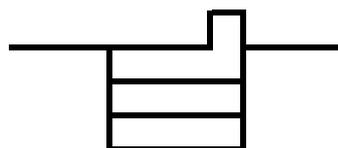
砂利を敷き、固めます。



コンクリートで基礎を作り固まるまで待ちます。



L形の側溝を並べます。



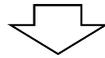
段差のないように埋め戻して完了です。

【 舗 装 】

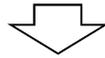
下水管やL形側溝などの工事が完了した後、最後にアスファルトで舗装します。



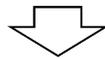
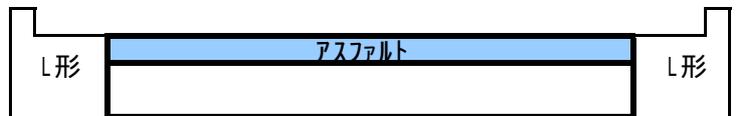
所定の厚さまで掘ります。



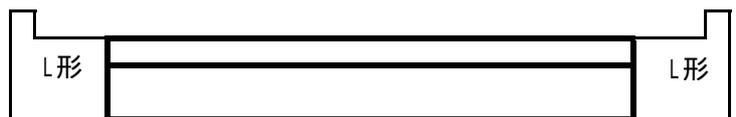
砂利を敷いて、ローラーなどの機械で固めます。



アスファルトを敷いて、ローラーなどの機械で固めます。



すべての工事が完了です。



【 留意事項 】

工事の準備や安全対策が取られているか確認しましょう。



施工業者の連絡先が記載された工事のお知らせをご近所に配ったり、工事看板を用意して、工事の準備をします。

工事中に地元の皆様方や周辺の方々の交通安全を図るため、交通整理のガードマンやバリケードを設置します。